

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味③

名前

26 問

問題 一

(一) 次の慣用句の — 部分の読みがなを () に
ひらがなで書きましょう。

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| ① 腑に落ちない () | ⑥ 反故にする () |
| ② 襟を正す () | ⑦ 血眼になる () |
| ③ 奥歯に物が挟まる () | ⑧ 太鼓判を押す () |
| ④ 固唾をのむ () | ⑨ 呆気にとられる () |
| ⑤ 尻馬に乗る () | ⑩ 脛をかじる ()
(親などに養ってもらうこと) |

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を () に漢字で書きましょう。

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| ① ウデが鳴る () | ③ キモが据わる () | ⑤ ケムに巻く () |
| ② カオから火が出る () | ④ クギを刺す () | |
- 自分の能力や技術を発揮したくて、うずうずすること。
非常に恥ずかしい思いをすること。
どんなことにも動じない、度胸があること。
「あとで問題が起きないように念を押すこと。約束事などをはっきり確認しておくこと」。
- 相手をだましたり、ごまかしたりして、わけがわからなくさせること。

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。

奥の手

いざという時のために取っておく、とっておきの
手段や秘策。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○を
つけましょう。

いくつわかるかな？



- | | | | | |
|--|--|---|---|--|
| ① 板につく
ア 木の板が古くなること。
イ 仕事や服装などが、その人にしっくり合っていること。
ウ 舞台の板の上で緊張すること。 | ② 裏をかく
ア 答案用紙の裏に名前を書くこと。
イ 相手の予想の逆をついて出し抜くこと。
ウ 隠れていたものを見つけ出すこと。 | ③ 折り紙をつける
ア 折り紙で何かを作ること。
イ 手紙を丁寧に折ること。
ウ 価値や能力が確かであると保証すること。 | ④ 角が立つ
ア 言動がもとで人間関係が円満でなくなること。
イ 部屋に角にほこりがたまること。
ウ 四角いものが丸くなること。 | ⑤ 鯖を読む
ア 魚の数を数えること。
イ 本の内容を大声で読むこと。
ウ 自分の年齢などを実際と違うように言うこと。 |
| (二) 次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。 | | | | |
| ① どうしてよいかわからず、困り果てること。
ア 途方に暮れる
イ 高嶺の花
ウ 流れに身を任せる | ② 余計なことをして、かえって災いを招いてしまう
ことのたとえ。
ア 藪をつついて蛇を出す
イ 棚からぼた餅
ウ 触らぬ神に祟りなし | ③ 相手を自分の思い通りに、巧みに操ること。
ア 手を握る
イ 手玉に取る
ウ 手を焼く | ④ 勢いを増しているものに、さらに勢いをつけるよ
うなことをすること。
ア 水に流す
イ 火に油を注ぐ
ウ 焼け石に水 | ⑤ 一度切れた関係が、再びもとの状態に戻る。
ア 焼け木杭に火がつく
イ 袂を分かつ
ウ 水と油 |

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味③

名前

26 問

問題 一

(一) 次の慣用句の — 部分の読みがなを () に
ひらがなで書きましょう。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ① 腑に落ちない
(ふ) | ⑥ 反故にする
(ほご) |
| ② 襟を正す
(えり) | ⑦ 血眼になる
(ちまなこ) |
| ③ 奥歯に物が挟まる
(おくば) | ⑧ 太鼓判を押す
(たいこばん) |
| ④ 固唾をのむ
(かたず) | ⑨ 呆気にとられる
(あつけ) |
| ⑤ 尻馬に乗る
(しりうま) | ⑩ 脛をかじる
(すね) |
| | (親などに養ってもらうこと) |

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を () に漢字で書きましょう。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① ウデが鳴る
答え (腕) | ② カオから火が出る
答え (顔) |
| ③ キモが据わる
答え (肝) | ④ クギを刺す
答え (釘) |
| ⑤ ケムに巻く
答え (煙) | |
- 「あとで問題が起きないように念を押すこと。約束事などをはっきり確認しておくこと。」
相手をだましたり、ごまかしたりして、わけがわからなくさせること。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○を
つけましょう。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| ① 板につく
ア 木の板が古くなること。 | ② 裏をかく
ア 答案用紙の裏に名前を書くこと。 |
| ③ 折り紙をつける
ア 折り紙で何かを作ること。 | ④ 角が立つ
ア 言動がもとで人間関係が円満でなくなること。 |
| ⑤ 鯖を読む
ア 魚の数を数えること。 | |

(二) 次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。

- | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| ① どうしてよいかわからず、困り果てること。 | ② 余計なことをして、かえって災いを招いてしまうことのとえ。 | ③ 相手を自分の思い通りに、巧みに操ること。 |
| ア 途方に暮れる | イ 高嶺の花 | ウ 流れに身を任せる |
| ④ 勢いを増しているものに、さらに勢いをつけるようなことをすること。 | ア 手を握る | イ 手玉に取る |
| ウ 手を焼く | | |
| ⑤ 一度切れた関係が、再びもとの状態に戻る。 | ア 水に流す | イ 火に油を注ぐ |
| ウ 焼け石に水 | | |
| ⑥ 一度切れた関係が、再びもとの状態に戻る。 | ア 焼け木杭に火がつく | イ 袂を分かつ |
| ウ 水と油 | | |

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。

【奥の手

いざという時のために取っておく、とっておきの手段や秘策。

(例) もうダメかと思ったが、最後の最後に奥の手を使って逆転した。

いくつわかるかな？

